事例No.	1460
公表年度	R3
団体の属性	町村
団体名	北海道安平町

事例区分	行政改革

タグ	・公共施設活用 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	公共施設の効果的活用

事例内容・タイトル

交流人口拡大拠点施設への指定管理者制度の導入

出典

地方公共団体における行政改革の取組（令和４年３月公表）

交流人口拡大拠点施設への指定管理者制度の導入＜北海道安平町（人口約７千人）＞

○北海道胆振東部地震からの復興シンボルとして整備した「道の駅あびらD51ステーション」を**交流人口の拡大に向けた拠点施設**に位置づけ、**指定管理者制度を導入**

＜町と指定管理者は政策推進上のパートナー＞

課　題

○札幌市や新千歳空港に近接する良好なアクセス環境に加えて、北海道らしい風景や優れた特産品に恵まれている一方で、地域の魅力発信が課題となっており、**まちの強みを十分に生かしきれない状況**だった

取　組

○指定管理者を**政策推進上の「パートナー」と位置付けて、町と指定管理者が一体となって地域の魅力発信を強化**
○地域の魅力を熟知している町と指定管理者が連携して、地域資源を活用した**新たな特産品・名産品を開発（例：特産のチーズ等）**したほか、町の発展を支えた鉄道文化を感じることができる**鉄道車両を活用したイベントを実施**

成　果

○**「地場産品の集結」という施設コンセプト**のもと、地場産品を用いたご当地メニュー等を取り揃えることにより、道内外に**食の魅力のPRや販路拡大に大きく寄与**
○賑わい創出を推進し、町へのリピーターやファン獲得につなげ、**安平町の歴史・文化の魅力発信に大きく寄与**
○町の知名度上昇にも寄与



＜道の駅あびらＤ５１ステーション＞